

平林古墳
画文帯仏獣鏡
(奈良県立橿原考古学研究所附属博物館 蔵)

平尾山古墳群
平野・大塚第20支群3号墳
単龍環頭大刀柄頭
(柏原市立歴史資料館 蔵)

大阪府立近つ飛鳥博物館
平成28年度 秋季特別展

大和と豪族

6世紀の大和と河内

平成28年

10/1(土) → 11/27(日)

- 開館時間 午前10時～午後5時(入館は午後4時30分まで)
- 休館日 毎週月曜日(ただし10月10日(月)は開館、10月11日(火)は休館)
- 入館料 一般 600円[480円]
65歳以上・高校・大学生 400円[320円]
中学生以下・障がい者手帳をお持ちの方(介助者を含む)は無料
([]内は20名様以上の団体料金)

- 主催 大阪府立近つ飛鳥博物館
- 後援 天理市 天理市教育委員会 羽曳野市 羽曳野市教育委員会
藤井寺市 藤井寺市教育委員会
太子町 太子町教育委員会 河南町 河南町教育委員会
百舌鳥・古市古墳群世界文化遺産登録推進本部会議
近畿日本鉄道株式会社
- 共催 読売新聞社

大王と豪族

6世紀の大和と河内

古墳時代を大きく二分した後半の古墳時代後期である6世紀は、大和や河内地域をはじめとする列島各地で最も多くの古墳が築かれた時期です。その多くは、群集墳と呼ばれる横穴式石室を埋葬施設に持つ小規模な円墳で、このような古墳が出現する背景には、新たに古墳を営むようになった集団の存在が推定できます。また、同時期の古墳には造出し付円墳、帆立貝式古墳、小型・大型前方後円墳など、多種多様な墳丘形態・規模の古墳がみられ、大型前方後円墳を頂点とする古墳秩序の最終的な様相をみることができます。これらの古墳には、ヤマト王権の大王をはじめ、それを支えた有力豪族、さらにそれらに仕える集団という支配秩序が表現されていると考えられます。

今回の展覧会では、6世紀におけるヤマト政権中枢の地である大和・河内地域における前方後円墳、群集墳など、さまざまな古墳からの出土品に焦点を当て、両地域の様相をみることで、王権、有力豪族やそれらのもとに形成されたと考えられる諸集団による後期古墳の展開や、様々な勢力による地域支配の様相について考えたいと思います。



市尾宮塚古墳
トンボ玉・切子玉・耳環
(高取町教育委員会 蔵)



平林古墳
楕円形鏡板
(奈良県立橿原考古学研究所
附属博物館 蔵)



荒蒔古墳
家形埴輪
(天理市教育委員会 蔵)

講演会

□時間 / 午後1時30分～午後3時
□会場 / 博物館地階ホール □定員 / 200名

▷10月30日(日) 館野 和己氏(奈良女子大学名誉教授)

[6世紀のヤマト王権の支配体制

—ミヤケ制を中心に—

▷11月6日(日) 千賀 久氏(葛城市歴史博物館館長)

[6世紀の大和の古墳と豪族

—葛城のその後、新庄と巨勢路の古墳群—

▷11月23日(水・祝) 白石 太一郎(当館館長)

[古墳からみた6世紀の物部氏]

※講演会の聴講には、入館手続きをお済ませの上、整理券をお取りください。

ミニシンポジウム

□時間 / 午後1時～午後4時20分 ※午前12時30分に開場します。
□会場 / 博物館地階ホール □定員 / 200名

▷10月16日(日) [6世紀の渡来人からみた大和と河内]

[基調講演①] 井上 主税氏(奈良県立橿原考古学研究所主任研究員)

[6世紀の大和の渡来人]

[基調講演②] 森本 徹(当館副館長兼学芸課長)

[6世紀の河内の渡来人]

○討論 / 進行: 当館学芸員

▷11月20日(日) [副葬品からさぐる6世紀の古墳]

[基調講演①] 諫早 直人氏(奈良文化財研究所研究員)

[6世紀における馬具の変化とその背景]

[基調講演②] 廣瀬 時習(当館総括学芸員)

[6世紀の副葬品にみる装身具の意義]

○討論 / 進行: 当館学芸員

※ミニシンポジウムの聴講には、入館手続きをお済ませの上、整理券をお取りください。

土曜講座

□時間 / 午後2時～午後3時 ※午後1時30分に開場します(先着順入場)。
□会場 / 博物館地階ホール □定員 / 200名

▷10月22日(土) 「墳丘規模と被葬者の階層」

市村 慎太郎(当館総括学芸員)

▷11月26日(土) 「摂津の古墳からみた6世紀」

森本 徹(当館副館長兼学芸課長)

※聴講には参加費200円が必要ですが、当日の入館のリーフレットもしくは年間パスポートの提示で無料となります。

現地見学会 □定員 / 45名(申込締切り 10月7日(金) 必着)

▷10月23日(日) 「天理市北部の古墳をめぐる」

※参加費が必要です。

※往復はがきによる事前申し込みが必要です。(応募者多数の場合は抽選となります。)

学芸員による展示解説

□時間 / 午後2時～午後2時30分 □会場 / 地階特別展示室

▷10月2日(日)、15日(土)、29日(土)

11月5日(土)、27日(日)

金剛バスの時刻表

喜志駅・富田林駅発 → 阪南ネオポリス着

時刻	9	10	11	12	13	14	15
喜志駅発	05:35	05:20	05:05	05:35	05:20	05:05	05:35
富田林駅発	50:50	35:20	20:40	05:05	35:20	20:50	05:05

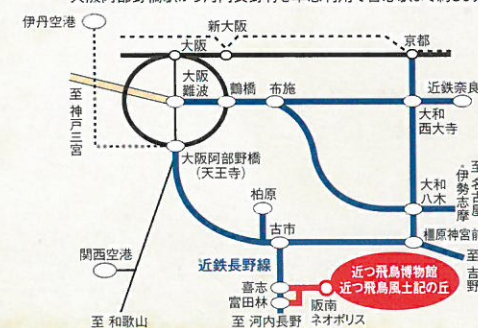
阪南ネオポリス発 → 喜志駅・富田林駅着

時刻	10	11	12	13	14	15	16	17
喜志駅行	25:40	10:25	25:55	10:40	25:55	10:55	40:38	40:58
富田林駅行	10:10	55:40	00:25	55:40	00:25	55:55	10:10	55:55

赤色は土・日・祝日の運行です

鉄道案内図

○交通 / 近つ飛鳥博物館へは近鉄長野線喜志駅または富田林駅下車、金剛バス阪南ネオポリス行き終点下車。徒歩600m。
大阪阿部野橋駅から河内長野行き準急利用で喜志駅まで約30分です。



道路案内図

○交通 / 高速道路利用の場合は、大阪方面からは羽曳野東ICが、橿原方面からは太子ICの利用が便利です。

